

『世界をリードする先進的モノづくりを目指して(2)』 ～ 創造的課題解決への取り組みと 最新デジタルエンジニアリング(DE)技術の活用 ～

日時：2006年4月17日(月) 10:00～17:40 (9:30 受付開始) 主催：横幹連合、横幹技術協議会

会場：(株)日立製作所 東御茶ノ水ビル 大会議室 (東京都千代田区神田駿河台4-6)

参加費：「横幹連合」会員学会の会員：10,000円(事前申込)、12,000円(当日申込)

「横幹技術協議会」会員企業の方：10,000円(事前申込)、12,000円(当日申込)

大学関係者・学生：無料(先着30名まで)

一般(上記以外の方)：13,000円(事前申込)、15,000円(当日申込)

参加費のお支払い方法：原則として銀行振込(※振込手数料を別途ご負担ください。)

定員：250名 事前申込の受付締切：2006年4月7日(金)

お申込み方法：【事前申込】横幹連合ホームページより、オンラインにてお申し込みください。

<http://www.trafst.jp/events/>

【当日申込】当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります。)

お問い合わせ先：横幹連合 シンポジウム係 電子メール symposium@trafst.jp TEL&FAX 03-3814-4130

【テーマ内容】変化のスピードが速く、モノ余り時代の市場環境で企業が成功するためには、創造的な製品開発・設計をいかに効果的かつ効率的に進めるかが重要課題である。このために活用すべき様々な手法を開発設計プロセス工学と位置づけ、昨年に続き、その最新事例と今後の進化の方向性を議論する。特に本年は創造的な課題解決に向けての手法、デジタルエンジニアリング技術の活用と人材育成を中心とした議論の場を提供するとともに、開発・設計プロセスの評価体系化の現状も紹介する。

【プログラム】

10:00～10:10 開会あいさつ

藤本 英雄 横幹連合 企画委員会 委員
(敬称略)
(名古屋工業大学)

■テーマ1：開発・設計プロセス工学技術

10:10～10:25 1-1◆報告「開発・設計プロセス工学技術と調査研究会 2005年度活動について」

林 利弘 (横幹連合理事、開発・設計プロセス工学調査研究会 主査、(株)日立製作所)

10:25～11:00 1-2◆招待講演「日本が世界で勝ち抜くための開発設計プロセスと評価体系標準化」

福岡 邦親 (JEITA(電子情報技術産業協会)設計プロセス評価指標標準化G 主査、富士通)

■テーマ2：創造的な課題解決技法

11:00～11:40 2-1◆「革新的課題解決技法 TRIZ の意義と国内外の状況」 中川 徹 (大阪学院大学)

(11:40～12:40 昼食)

■テーマ3：DEの新しい挑戦と創造的な課題解決に向けて

12:40～13:00 3-1◆「DEのあるべき姿と現状」

坂井 佐千穂(セイコーエプソン)

13:00～13:30 3-2◆「3次元化と組織・業界の革新」

竹田 陽子(横浜国立大学)

13:30～14:00 3-3◆「力覚・触覚技術による高臨場感デジタルシミュレーションにむけて」

藤本 英雄(名古屋工業大学)

14:00～14:30 3-4◆「メカ・エレキ・ソフト連携シミュレーションへの挑戦」

山本 節雄(インターデザイン・テクノロジー)

14:30～15:15 3-5◆「次世代3D開発設計システムのための新提案：

トポロジー図学の応用と解析コードの自動生成」

吉田 康彦(サイテック)

(15:15～15:35 休憩)

■テーマ4：パネル討論：DE時代における創造的な技術者の育成に向けて

15:35～17:35 座長：浜谷 雅秀(キャノン)

パネラー：藤田喜久雄(大阪大学)、井越、竹田、筒井、鈴木 惣一(三菱重工業)、坂井

4-1◆事例1「開発・設計プロセス工学教育の課題と取り組み」 井越 昌紀(日本工業技術振興協会 ACP研究会 会長、東京都立大学)

4-2◆事例2「創造的設計教育への取り組み」 筒井 真作(キャディック)

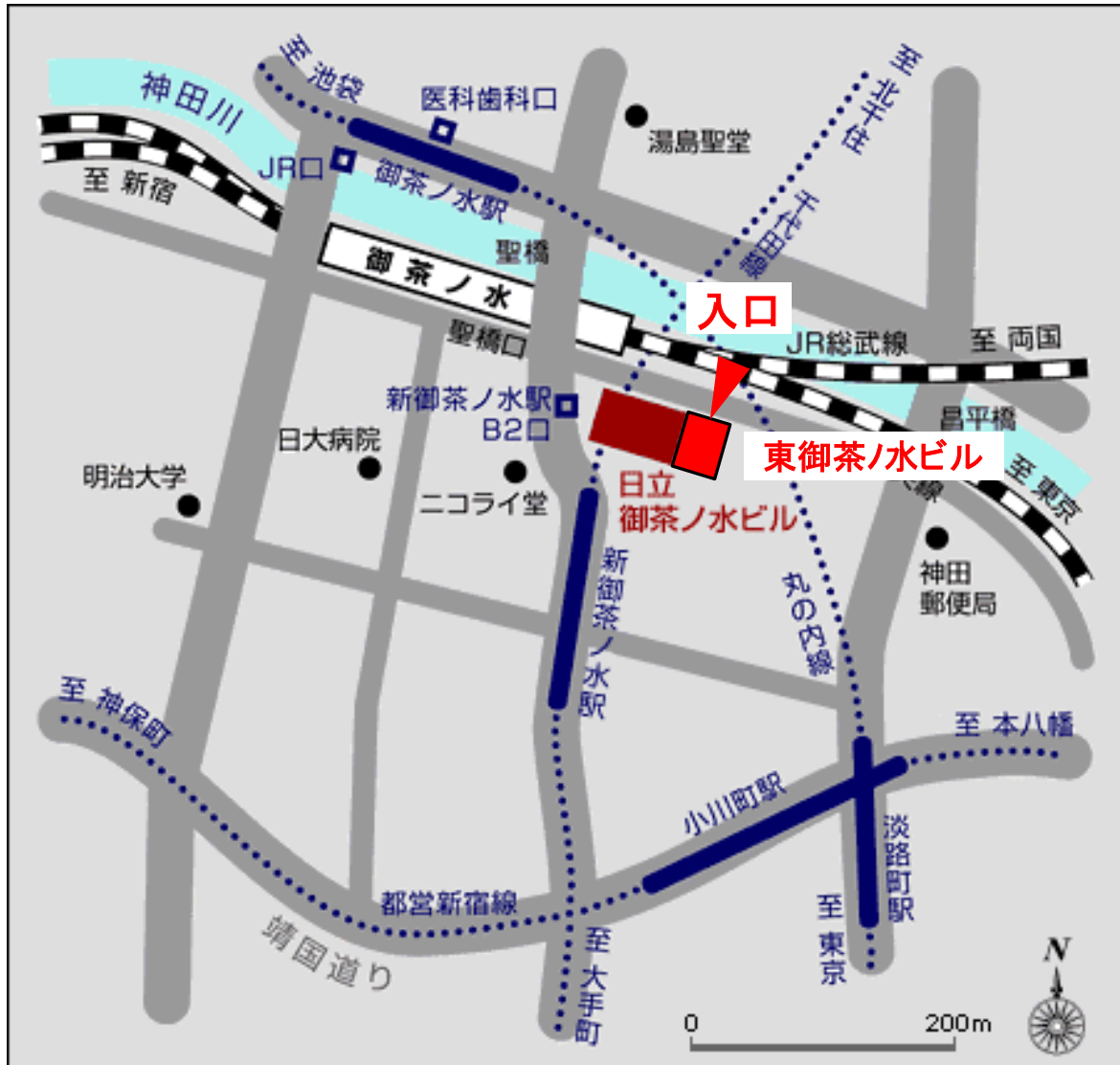
17:35～17:40 閉会あいさつ

江尻 正員 横幹連合 副会長

会場ご案内

(株)日立製作所 東御茶ノ水ビル

(東京都千代田区神田駿河台 4-6 TEL : 03-3258-1111)



【お問い合わせ先】

横幹連合 事務局 シンポジウム係
Email : symposium@trafst.jp
TEL&FAX : 03-3814-4130
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-35-28-303

特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合